

行政相談委員制度60周年記念式典の概要

- ◇ 令和3年が行政相談委員制度創設60周年にあたることから、国民と行政をつなぐ上で行政相談委員が果たしている役割の重要性を再認識するとともに、国民の理解を一層深め、委員の士気高揚、地方公共団体等との連携促進を図り、併せて功績顕著な委員等を顕彰するため、秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨席のもと本式典を開催
- ◇ 式典会場では万全の感染対策を行うことにより、感染リスクを低減

<行政相談委員制度60周年記念式典>

- 主催： 総務省
(公社)全国行政相談委員連合協議会
- 日時： 令和4年6月30日(木) 14:00～14:30
- 会場： 京王プラザホテル
本館5階「コンコードボールルーム」
- 参列者： 160名(現時点での想定)
- 式次第： 開式の辞
国歌演奏
式辞(総務大臣)
おことば(秋篠宮皇嗣殿下)
来賓祝辞
功労者顕彰(内閣総理大臣感謝状、
総務大臣表彰、総務大臣感謝状)
行政相談委員からのメッセージ
閉式の辞
- ◇記念講演会(14:45～15:45)
講師：増田 明美氏(スポーツ・ジャーナリスト)

<地方会場>

- 地域の実情に応じた感染対策を実施
- 参列者
 - ・ 来賓
 - ・ (式典会場に参列しない)受彰委員と同伴者、
その他の行政相談委員
 - ・ 総務大臣感謝状受彰者
- 式典・記念講演会のWeb配信を地方会場で放映
地方会場の模様は別途発信し、式典会場で放映
- 参列した受彰委員と総務大臣感謝状受彰者に表彰状を
伝達

<式典のWeb中継の実施>

- 全国50か所の地方会場にWeb配信を行い、全国の行政
相談委員が参加予定
- 地方会場にも参列できない委員は自宅で視聴予定
(約3,000人が参加見込み)

行政相談委員制度60周年記念式典における功労者顕彰

	1 内閣総理大臣 感謝状	2 総務大臣表彰	3 総務大臣感謝状
贈呈時期	10年の節目ごと	毎年度	10年の節目ごと
対象者	長年にわたり他の委員の模範となる活動を展開、あるいは委員団体の役員として委員制度の発展に貢献した行政相談委員又は元行政相談委員	10年以上委員を務め、業績が特に顕著である 行政相談委員	委員活動に深い理解を示し、相談会場の提供、宣伝啓発業務への協力等、委員活動への協力・支援を行った者（地方公共団体、事業者、団体・個人）
受彰者数	60人	100人	21者 <div style="display: flex; align-items: center;"> { <div style="margin-right: 5px;"> 地方公共団体 8 事業者 9 団体・個人 4 </div> } </div>

行政相談委員とは

- ◇ **行政相談委員(約5,000人)は、総務大臣が委嘱した、無報酬の民間有識者です。**
 - 全市区町村に1人以上配置され(任期2年)、国民に身近な相談窓口として活動
 - 社会的信望があり、行政運営の改善について理解と熱意を有する者(自治会、商工会、社会福祉団体等で地域活動を行っている者、弁護士等の専門職、自治体OBなどから市区町村長が推薦)
 - 国民と行政の懸け橋として、国の行政に関する照会、苦情、意見・要望等の相談を受けて、相談者への助言や、関係行政機関に通知を行うほか、総務省と連携して相談内容の解決を促進
 - 市区町村役場・公民館・集会所等で定期的に相談所を開設するなどの活動を展開
 - ※「総務省の行政相談の実績(令和3年度)」参照
 - 総務大臣に対し、委員活動の経験を踏まえて、行政運営の改善に関する意見を述べることにより行政の改善に貢献

今回の式典で顕彰される行政相談委員の活動例

東日本大震災で自ら被災しながらも相談活動を実施

＜災害時に国民に寄り添う活動＞

行政相談委員の活動

東日本大震災で被災し、**仮設住宅に入居**中、仮設住宅の集会所等において、**被災者のための特設相談所や懇談会を、現在まで継続的に実施**

例えば、被災家屋の復旧費用がなく困っているといた相談では、補助制度を紹介し、被災者である相談者から感謝された。

全ての漢方薬の薬包に、薬の名前が表示
＜総務大臣への意見提出で行政の改善に貢献＞

行政相談委員の意見要旨

漢方薬の包装には、番号しか書いていないので、**薬の名前が分からない**。

複数の薬を処方されており、**どの薬か判別できなくて困った**。
薬名を表示してほしい。



改善 総務省が厚生労働省に対して検討を求めたところ、平成24年に業界団体を通じ、**漢方薬の包装に薬名を表示するよう業者に要請し、改善されました。**

数字で見る行政相談委員制度

◇ 行政相談委員の人数は？

現在、全国に**約5,000人**(全市区町村に1人以上)が配置されています。委員制度創設時は882人からスタートし、これまで**約3万人**の方が委嘱されています。

現在、最も長く委員を務めていただいている方の委嘱期間は、**39年3月間**です。

◇ 行政相談委員はどんな人？

委員の平均年齢は**68.7歳**です。年齢別にみると、60歳代の割合が46.8%と最も多く、次いで70歳代が45.1%となっています。

男性の割合は65.0%、女性は35.0%となっています。

◇ 令和3年度の行政相談委員の活動実績は？

相談受付件数	4万2,538件
相談所の開設	延べ2万8,409回
行政相談懇談会の開催	141回
出前教室の開催	106回

※「総務省の行政相談の実績(令和3年度)」参照

◇ 60年間の行政相談の受付件数は？

行政相談制度が開始された昭和29年度からの総相談件数は**約1,025万件**。うち、行政相談委員制度創設からこれまでに委員が受け付けた相談件数は**約709万件**に上ります。

行政相談委員制度 60年のあゆみ

年月	主な出来事	年月	主な出来事
S30.02	行政管理庁監察部で行政相談業務を開始	S58.04	一部管区局等で行政苦情救済推進会議が発足
S36.07	全国に882人の行政苦情相談協力委員を配置	S62.12	総務庁本庁で行政苦情救済推進会議が発足
S37.09	行政苦情相談協力委員を行政相談委員に改称	H05.08	初めて特別行政相談活動を実施(北海道南西沖地震)
S39.04	行政相談委員を全市区町村に配置 (定数3,605人)	H06.10	総務庁行政監察局が国際オンブズマン協会に加入
S41.07	行政相談委員法が施行	H10.10	インターネットによる行政相談の受付を開始
S42.10	行政相談週間を設定し、各種行事を初めて実施	H16.04	行政苦情110番の全国共通番号(0570-090110)導入
S53.06	東京及び名古屋で初めて総合行政相談所を開設	H23.07	行政相談委員制度50周年記念中央式典を開催
S56.10	行政苦情110番を開始	H30.06	総務省行政相談センターの愛称「きくみみ」を決定
		R04.06	行政相談委員制度60周年記念式典